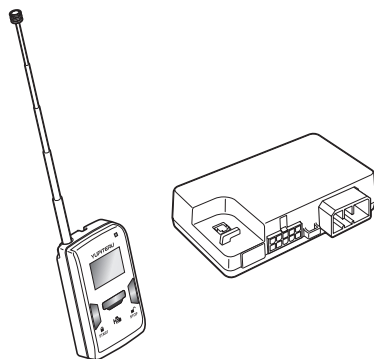


VE-E78R

取扱説明書



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

目次

主な特長	2
ご使用前に	4
安全機能について	7
各部の名称とはたらき	8
リモコンの上手な使いかた	9

エンジンを開始させる	10
エンジンを停止させる	13
エンジンの状態を確認する	14
アイドリング時間を延長する	16
車に乗るときは	18
ドアロック/アンロックの操作	19
エンジンスターターの設定	22

操作する

アイドリング時間の設定/セル時間の設定/グロー時間の設定/ターボタイマー機能の ON/OFF 設定/リトライ設定/サイレントモードの設定/車室内温度表示設定/セルモーター停止タイミング検出方法選択/始動判定方法選択/IG 設定/エンジンスターター特殊制御設定/オールリセット

ターボタイマー機能について	29
スリープ機能について	30
電池交換のしかた	31
車内で「ビビビビビビ」音が鳴っている場合	32
リモコンの登録方法	34
こんなときは	35
始動エラー音について	36
仕様	36
セット内容	37
アフターサービスについて	37
保証書	裏表紙

その他



取り付けには、専門知識が必要です。

安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様にご依頼ください。

- 本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
- お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行っておりません。
- お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車

- 車種別専用ハーネスの設定がある車
- オートマチック(AT)車
- 12V車で、 $\ominus$ アースの車
※ 上記の3つの条件を満たす車以外ではご使用いただけません。
- マニュアル車・外国車には取り付けできません

■アンテナ採用 (ジャンクションユニット)

- アンテナ内蔵の車内スッキリデザイン

■通信技術

- 独自のプログラミング処理により、今まで受信しにくかった屋内やビルの陰でも確実にエンジン始動をサポートします。

○通信距離の目安

通信距離 : 最大 3,300m(見通し)

ビル街/住宅街 : 200m(遮蔽物あり)~1,200m(見通し)

ご注意

- 実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。
電波の届かない地下や屋内では表記の通信距離より短くなることがあります。
- ファンモーターなどのノイズの大きな車では、エンジン始動させるときに比べ、停止させるときの方が短くなることがあります。

■セル時間設定 (☛ 22 ページ)

車にあわせて、セルモーターの始動時間を、0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0/5.0 秒の7段階から設定できます。

■アイドリング時間設定 (☛ 22 ページ)

季節、気候にあわせたアイドリング時間を、2/10/15/20/30 分の5段階から選択できます。

■ターボタイマー機能 (☛ 23 ページ)

走行時間にあわせてアフターアイドリング(30 秒~3 分)を自動的に行うことができます。

■アイドリング延長機能 (☛ 16 ページ)

アイドリング設定時間に対して 10 分のアイドリング延長ができます。

※アイドリング時間設定を 30 分にしている場合は、アイドリング時間を延長することができません。

■車室内温度表示 (☛ 23 ページ)

車室内温度をリモコンに表示します。

■サイレント機能

使用環境や状況に応じて、次の2つの機能を使い分けることができます。

- サイレント操作 エンジンの始動・停止・状態確認操作時に、一時的にリモコンから音を鳴らすことなく操作が行えます。
- サイレントモード リモコンからのすべての音を「鳴らす / 鳴らさない」から選択できます。

■多彩なオプション

※オプション品については、予告なく仕様を変更したり、販売を終了する場合があります。
あらかじめご了承ください。

- ドアロック / アンロック機能 (別売 A-17SF : キーレスエントリー)
離れた場所から、本機リモコンでドアロック(施錠) / アンロック(解錠)ができます。

※別売のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合があります。

- ハザードアンサーバック機能 (別売 A-18SF : ハザード制御)
本機でのエンジン始動時、ハザードランプを3回点滅させてエンジンがかかったことお知らせします。
また、本機でのドアロック / アンロック時に、ハザードランプを点滅(1回/2回)させることができます。

- ドアミラーコントロール機能 (別売 A-35SF : ドアミラーコントローラ)
本機リモコンのドアロック・アンロック操作でドアミラーの開閉ができます。
※適応車種限定...詳しくは、車種別専用ハーネス適応表をご参照ください。

ご使用の前に（安全上のご注意）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡したり重傷を負う可能性があります。

注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

- △ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- ⊘ ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

- シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。
- 車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させ、事故の原因となります。
- 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。
- 暖機運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。
- 煙がでている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。
- 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

警告

- 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください
 - ボンネットを開けるとき
 - 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
 - 本機の使用方法を理解されていない方が運転するとき
 - 長期間、車を使用しないとき
- 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する
 - 本機でエンジンを始動させた状態では走行できません
 - エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルモーターの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置がはたらかないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。
- 車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する
- むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります。
- マフラーが雪で覆われるような降雪時に使用しない…排気ガスが車内に充満して大変危険です。
- 本機でエンジンを始動した際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない…エンジンスターターの安全機能がはたらかず、思わぬ事故につながる場合があります。

注意

- あらかじめ駐車時には以下のことを守る
 - ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動き出すので危険です。また凍結した場合、モーターの損傷や車種別専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
 - すべての窓を閉めてください。
- すべてのドアを施錠(ロック状態)してください。
- 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。
- 地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。

●一般公道での使用、締め切った場所での使用はおやめください。

本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。



ご使用の前に

ご注意 電波法について

- 電池カバー内側の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。

ご注意 本機の機能について

- コンライトキャンセル機能が使用できないお車の場合
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車*で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止した後も消灯しません。
※暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止した後、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

ご注意 ご使用にあたって

- 車から降りる際にワイパーなどの電源を OFF にしてください。ワイパーの凍結などで過大な負荷がかかると、車種別専用ハーネスのヒューズが切れたり、車を故障させることがあります。
- リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ホコリや油煙の多い場所。

- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

- ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)機能について (オプション対応)
ラジオの送信所やテレビ塔、NTT のアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアロック・アンロックができない場合があります。また、電池が完全に消耗してしまうとリモコン操作ができなくなりますので、車のキーは必ず携帯してください。
キーでエンジンをかけているときは、リモコンからの操作は無効となります。
※車から離れたときは、ドアのロックを確認してください。



- 非常に温度の低い場所。
- リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
- ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、アイドリング中にドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作を行ってください。
- オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・ドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、本機によるエンジンの始動やターボタイマー機能は動作しません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだだけの状態(ON ポジションまで回さない状態)でシフトチェンジすると、エンジンが停止します。



※一部の車両では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■ コンライトキャンセル機能

(別売の A-60 を使用して、車両に施工済みの場合)

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

※一部の車両では、コンライトキャンセル機能が正常にはたらかない場合があります。

■ ドア検出

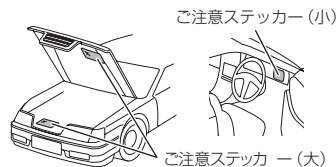
(別売の A-60 を使用して、車両に施工済みの場合)

エンジンスターター動作中にドアを開けると、エンジンが停止します。

※アフターアイドリング中は機能しません。

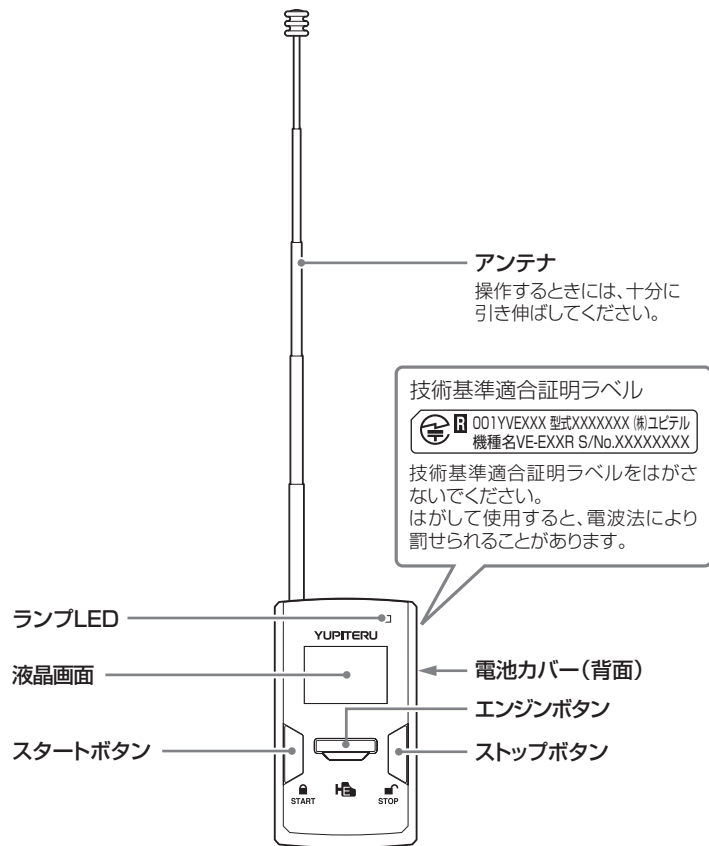
⚠ 警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いてください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー (大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー (小)」はボンネットオープンやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



各部の名称とはたらき

リモコン



●リモコンの表示について

リモコンのENG・START・STOP ボタンのいずれかを押すと、液晶画面が約3秒間点灯(点滅)します。

また、電波を受信した場合は、動作に応じた液晶画面が約3秒間点灯(点滅)してお知らせします。

ポイント

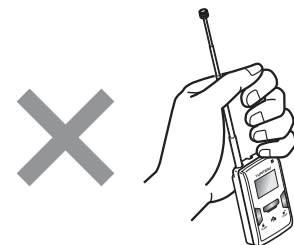
- 液晶画面は点灯(点滅)後、バッテリーセーブのため消灯します。
- 気温が0℃以下になると液晶表示が薄くなったり、表示されないことがあります。エンジンの始動・停止等のリモコン操作には問題ありません。

リモコンの上手な使いかた

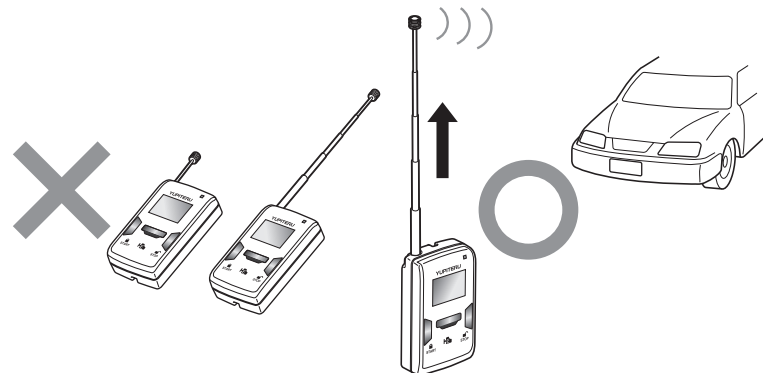
リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

■リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

※電波が飛びにくくなります。

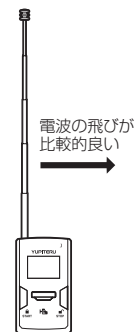


■リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。



■通信が正常にできない場合、エラー音『ピー』が鳴ります。このような場合は、以下のことをお試しください。改善される場合があります。

- 車両とリモコンの間に障害物がなくなるような方向に車を駐車してください。障害物により電波が遮断されることがあります。
- リモコンの右側面を車両に向けて操作してください。通信距離が伸びることがあります。

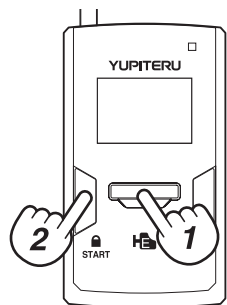


⚠注意

降雪時や寒冷地で車を駐車するときは…

車を駐車するときはワイパーなどの電源をOFFにしてください。

本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結などにより過大な負荷がかかり車種別専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。



サイレント操作

リモコンの操作 1 で、

“ (エンジン) ボタンを LED が点灯するまで押し続ける (約 3 秒間) と、一時的に、リモコンから音を鳴らすことなく、リモコン操作が行えます。

リモコンの操作

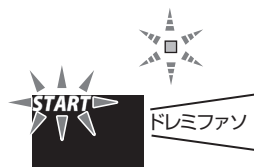
1 操作確認音「ビッ」が鳴るまで (エンジン) ボタンを押す

“ ” が点滅します。



2 “ ” が点滅中 (約 3 秒間) に、『ドレミファソ』が鳴るまで (スタート) ボタンを押す

“START” が点灯し、LED が点滅して信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』と鳴り、“ ” が点灯します。



※ 電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファソ』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。



エンジンの始動を行います。

ポイント

本機リモコン操作 (エンジンの始動、停止、状態確認、アイドリング時間の延長、ドアのロック/アンロック) をしたときに、ジャンクションユニットからの信号を受信できないと、“ ” が点滅してリモコンからエラー音『ピー』が鳴ります。

【エラー表示】



このような場合は、場所を変えてもう一度リモコン操作を行ってください。

メモ

車のバッテリーの性能が低下しているときは、エンジンキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

エンジンが始動すると



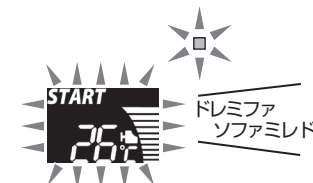
エンジン始動を検出して、始動確認の信号をリモコンに送ります。

別売のハザード制御：A-18SF を接続していると、ハザードランプが 3 回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

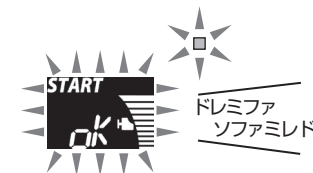
受信音『ドレミファソファミレド』と鳴り、LED が 3 秒間点灯して、車室内温度とエンジン始動をお知らせします。

■車室内温度表示設定 ON 時のアンサーバック



車室内温度は $-30^{\circ}\text{C} \sim 99^{\circ}\text{C}$ の範囲を 1°C 単位で表示します。温度が -30°C 以下のときは -30°C 、 99°C 以上のときは 99°C で表示します。

■車室内温度表示設定 OFF 時のアンサーバック



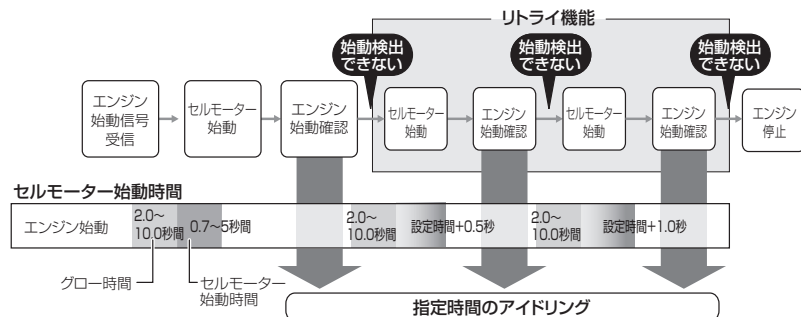
アイドリング中は『ピッピッピッ』とジャンクションユニットから連続して鳴り、本機動作により、アイドリングしていることをお知らせします。

● エンジンが始動できないと、リトライ機能がはたらきます。(「リトライ機能」▶ 12 ページ)

エンジンを始動させる

リトライ機能とセルモーター始動時間について

エンジンが始動できなかったときに、再始動(リトライ)を2回行います。
「リトライ設定」(● 23 ページ)



- ※ オルタネータ線を接続した場合、エンジンの始動を検出すると、セルモーターを停止します。
- ※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動(リトライ)を繰り返す場合があります。このような場合は、始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してください。(「始動判定方法選択」● 26 ページ)
- ※ 始動判定方法選択を「特殊判定」に変更しても再始動を繰り返す場合は、オルタネータ線(白線)の接続が必要です。
- ※ 安全機能によりエンジン始動を停止した場合は、再始動(リトライ)は行いません。

メモ

安全機能とは… シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジションになっている、エンジンスターターによるエンジン始動が可能な状態であるかを確認する機能です。(「P・ポジション検出」● 7 ページ)

リトライ動作を行うと

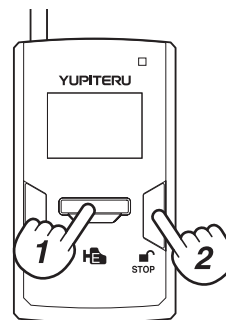
受信音『ピーピーピー』が鳴り、“PT” が点滅し、リトライ動作をお知らせします。



警告

車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。

エンジンを停止させる



リモコンの操作

- 1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで「エンジン」ボタンを押す

“ピッ” が点滅します。



- 2 “ピッ” が点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで「STOP」(ストップ)ボタンを押す

“STOP” が点灯し、LED が点滅して、信号を送信します。



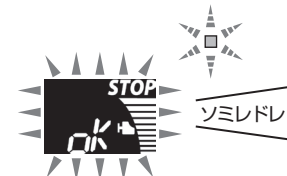
ジャンクションユニットが信号を認識すると、エンジンを停止しリモコンに信号を送り返します。

サイレント操作

リモコンの操作1で、“エンジン” (エンジン) ボタンをLED が点灯するまで押し続ける(約3秒間)と、一時的に、リモコンから音を鳴らすことなく、リモコン操作が行えます。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソミレドレ』が鳴り、“OK” が点灯し、LED が4回点滅して、エンジンが停止したことをお知らせします。

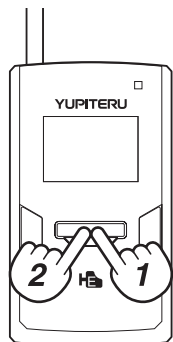


エンジンの状態を確認する

エンジンの始動／停止状態の確認ができます。

ご注意

エンジンキーでエンジンを始動した場合は確認できません。



サイレント操作

リモコンの操作1で、

“E”（エンジン）ボタンをLEDが点灯するまで押し続ける（約3秒間）と、一時的に、リモコンから音を鳴らすことなく、リモコン操作が行えます。

メモ

エンジンが始動できなかった場合、右記の操作（エンジンボタンの2度押し）で始動エラー音を確認することもできます。（「始動エラー音について」▶ 36ページ）

リモコンの操作

1 操作確認音「ビッ」が鳴るまで“E”（エンジン）ボタンを押す

“E”が点滅します。



2 “E”が点滅中（約3秒間）に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう一度“E”（エンジン）ボタンを押す

“chk”が点灯し、LEDが点滅して、信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが3回点滅します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

■エンジンが始動中は

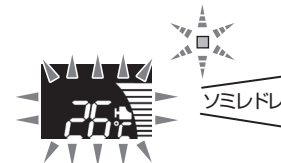
受信音『ソファミレド』が鳴り、現在の車室内の温度を表示し、LEDが3秒間点灯します。



（「車室内温度表示設定」▶ 23ページ）

■エンジンが停止中は

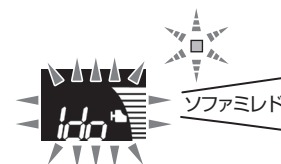
受信音『ソミレドレ』が鳴り、現在の車室内の温度を表示し、LEDランプが4回点滅します。



車室内温度表示設定を OFF にしていると

■エンジンが始動中は

受信音『ソファミレド』が鳴り、“ldo”が点灯し、LEDが3秒間点灯します。

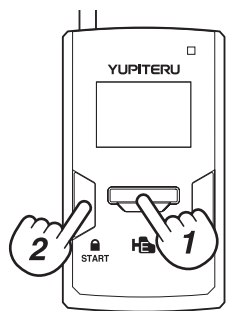


メモ

車室内温度は-30℃～99℃の範囲を1℃単位で表示します。温度が-30℃以下のときは-30℃、99℃以上のときは99℃で表示します。

アイドリング時間を延長する

エンジンスターアイドリング中にアイドリング設定時間に対して 10 分のアイドリング延長ができます。



サイレント操作

リモコンの操作 1 で、
“エンジン” ボタンを
LED が点灯するまで押し
続ける (約 3 秒間) と、一
時的に、リモコンから音
を鳴らすことなく、リモ
コン操作が行えます。

リモコンの操作

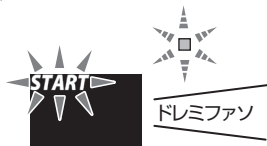
1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで “エンジン” ボタンを押す

“ピッ” が点滅します。



2 “ピッ” が点滅中 (約 3 秒間) に、『ドレミファン』
が鳴るまで “スタート” ボタンを押す

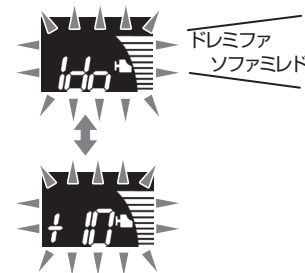
“スタート” が点灯し、LED が点滅して信号を
送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識す
ると、リモコンに信号を送ります。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、“Ido”
と “+ 0” が交互に点灯し、LED が点灯してアイ
ドリング時間の延長をお知らせします。



ご注意

次のような場合は、アイドリング時間を延長することができません。

- アイドリング時間設定を 30 分にしている場合
- アイドリング時間延長操作をすでに 1 度行っている場合

車に乗るときは

安全のため、いったんエンジンを停止させた後、必ず車両本来の操作(キー操作など)でエンジンを始動してください。

走行する際は

1 リモコン操作でエンジンを停止させる
(エンジン停止操作は ●13 ページを参照)

2 車両本来の操作 (キー操作など) で、エンジンを始動させる



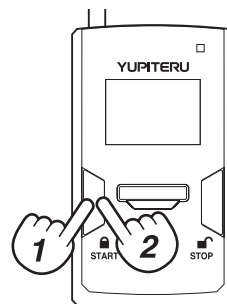
ドアロック/アンロックの操作 (オプション対応)

次ページに続く

ご注意

別売のキーレスエントリー：A-17SF等の接続が必要です。

※お車によっては、別売のドアロックアダプターやドアロックハーネス等が必要な場合があります。



ご注意

車両のエンジンキーでアイドリングを行っているときは、本機リモコンでドアのロックやアンロックはできません。

メモ

ハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが1回点滅します。

ドアのロック(施錠)操作

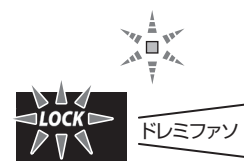
1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで (スタート) ボタンを押す

“LOCK” が点滅します。



2 LOCKが点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう一度 (スタート) ボタンを押す

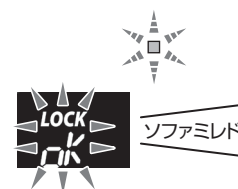
“LOCK” が点灯し、LEDが点滅して信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをロックしてリモコンに信号を送り返します。

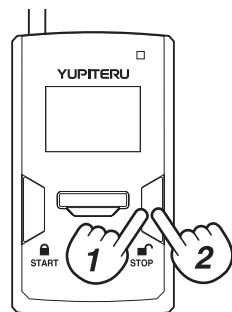
ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、“LOCK” と “OK” が点灯し、LEDが2回点滅して、ドアのロック(施錠)をお知らせします。



操作する

操作する



ご注意

車両のエンジンキーでアイドリングを行っているときは、本機リモコンでドアのロックやアンロックはできません。

メモ

ハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが2回点滅します。

ドアのアンロック(解錠)操作

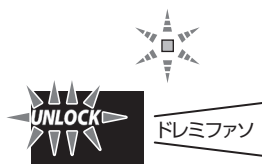
1 操作確認音『ビッ』が鳴るまで (ストップ) ボタンを押す

“UNLOCK” が点滅します。



2 UNLOCK が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまでもう一度 (ストップ) ボタンを押す

“UNLOCK” が点灯し、LED が点滅して、信号を送信します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをアンロックしてリモコンに信号を送り返します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、“OK” が点灯し、LED が3回点滅して、ドアのアンロック(解錠)をお知らせします。



⚠️ 注意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
 - 半ドア状態でドアロック操作をした場合は、ドアを完全にロックできない場合があります。
 - 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
 - 本機は、オートリロック機能※を搭載していませんので、リモコンでドアアンロック後、乗車しない場合は、ドアのロック状態を確認してください。
- ※ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック(リロック)する機能

本機は車両や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定を設けてあります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なされないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

設定手順は
➡ 24、25ページ

アイドリング時間の設定

本機で始動した場合のアイドリング時間を2/10/15/20/30分の5段階から選択できます。

※ 工場出荷時は10分に設定されています。

セル時間の設定（設定には専門知識が必要です）

車にあった、セル時間を0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0/5.0秒の7段階から選択できます。セルモーターの引きずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

※ 工場出荷時は1.0秒に設定されています。

ポイント

オルタネータ線（白線）を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモーターを停止します。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。セル時間の設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

グロー時間の設定

一部のディーゼル車などで、5秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。ホンダ車や上記のような一部のディーゼル車を除き、リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。

※ 工場出荷時は5.0秒に設定されています。

ご注意

7.0秒、10.0秒を選択した場合は、オルタネータ線の接続が必要です。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。グロー時間の設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

ターボタイマー機能のON/OFF設定

ターボタイマー機能のON/OFFが設定できます。

※ 工場出荷時は「OFF」に設定されています。

ご注意

アフターアイドリング時間を手動で設定することはできません。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。ターボタイマー機能のON/OFF設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

リトライ設定

1回でエンジン始動できなかったときに、再始動（リトライ）を自動的に2回まで行います。

※ 工場出荷時は「リトライする」に設定されています。

メモ

一部のプッシュスタート車は「リトライしない」に固定されるため、変更できません。リトライ設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

サイレントモードの設定

リモコンからのすべての音を「鳴らす/鳴らさない」から選択できます。

※ 工場出荷時は「OFF」に設定されています。

ON	リモコンの音を鳴らさない
OFF	リモコンの音を鳴らす

車室内温度表示設定

リモコンに表示される車室内温度のON/OFFが設定できます。

※ 工場出荷時は「ON」に設定されています。

ご注意

温度センサ未接続の場合は、正しい温度が表示されません。設定を「OFF」にしてご使用ください。

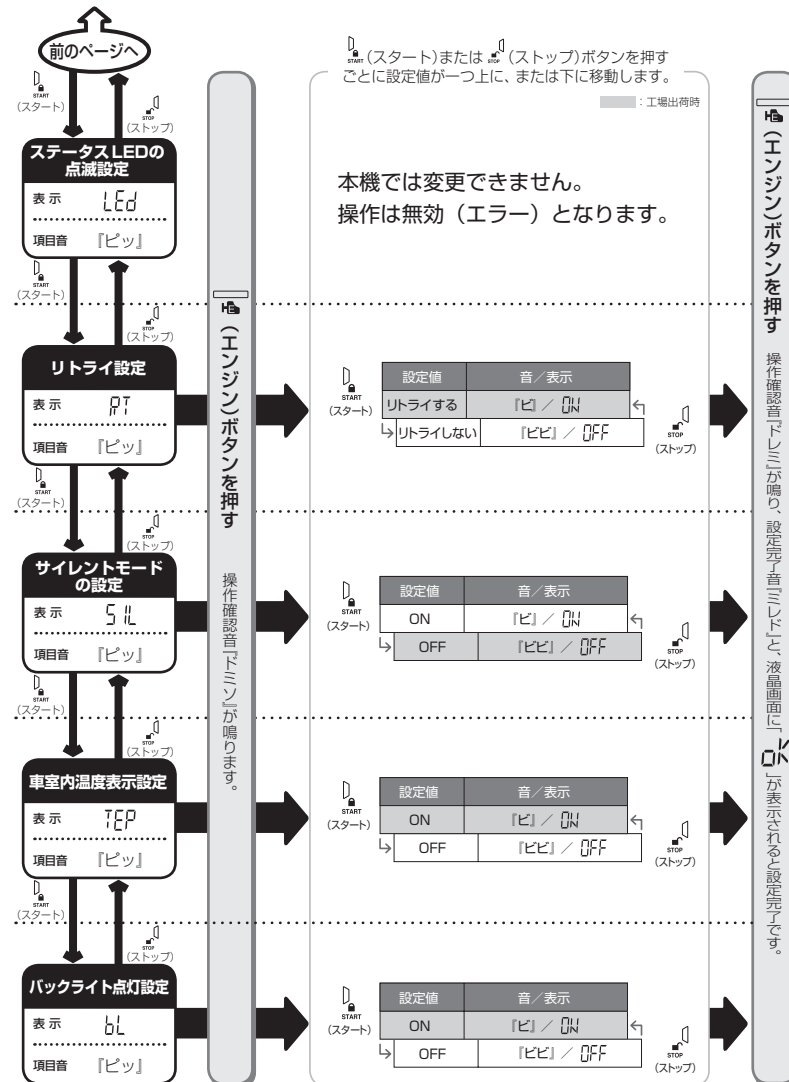
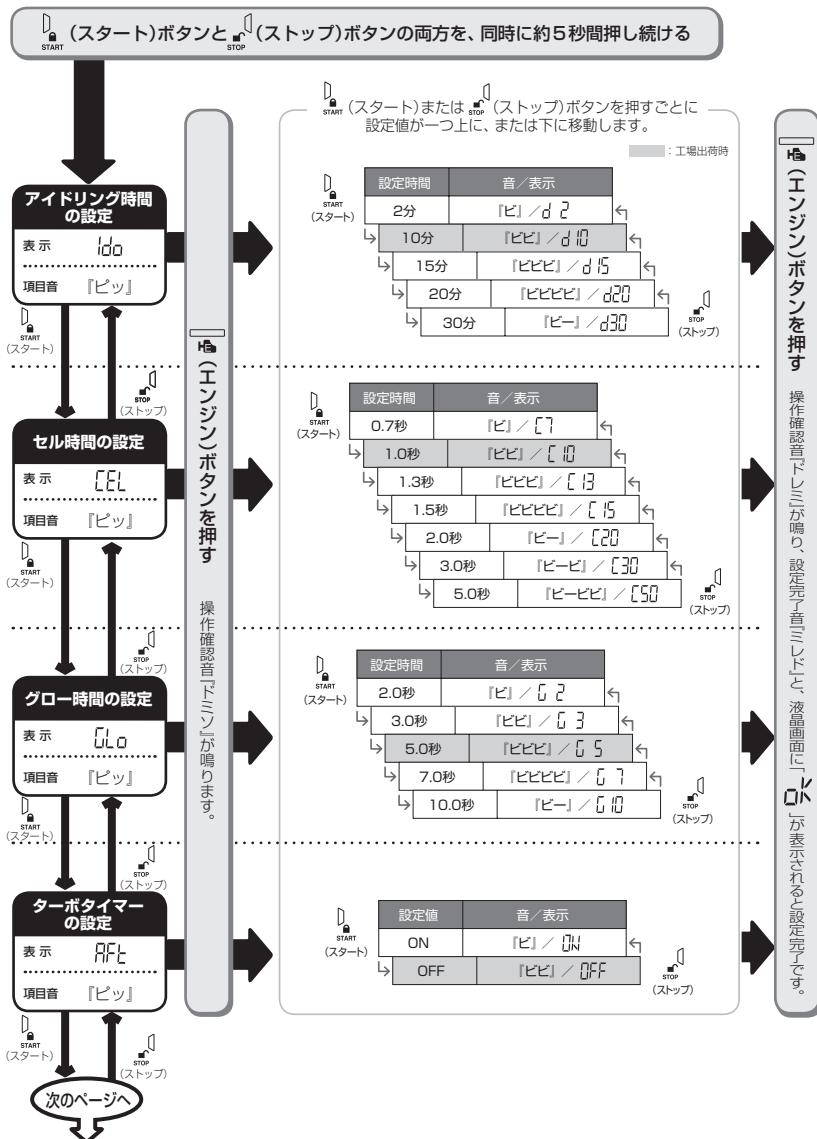
ON	温度表示する
OFF	温度表示しない

バックライト点灯設定

リモコン表示部のバックライトを「点灯する/消灯する」から選択できます。

※ 工場出荷時は「ON」に設定されています。

ON	バックライトを点灯する。
OFF	バックライトを消灯する。



ご注意

設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。

操作する

本機は一部の特殊な車両でご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

設定手順は
➡ 28ページ

セルモーター停止タイミング検出方法選択（設定には専門知識が必要です）

セルモーター停止タイミングの検出方法を選択できます。

セル時間を設定してもセルモーターの引きずりが改善されない場合に、設定を「電圧検出」に変更してご使用ください。セルモーターの引きずりが無い場合は、設定変更しないでください。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更出来ません。セルモーター停止タイミング検出方法選択の項目音「ビッ」自体が出なくなります。

※ 工場出荷時は「オルタネータ検出」に設定されています。

ポイント

工場出荷時の設定（「オルタネータ検出」を選択）をしている場合で、オルタネータ線が接続されていないときは、セル時間（「セル時間の設定」➡22ページ）で、セルモーターを停止します。

ご注意

一部の車両ではセルモーター停止タイミング検出を「電圧検出」に設定しても、セルモーターの引きずりを改善できない場合があります。このような場合は設定を「オルタネータ検出」に戻して、オルタネータ配線を行ってください。

始動判定方法選択

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。

エンジンが正常に始動したにもかかわらず、1分程度で停止してしまう場合に、設定を「JO（特殊判定）」に変更してご使用ください。

※ 工場出荷時は「J1（通常）」に設定されています。

ご注意

特殊判定を選択した場合、エンジン始動に失敗しても、アイドルリング設定時間の間、車両の電源がONとなることがあります。

IG設定（設定には専門知識が必要です）

一部の車両において、工場出荷時の状態で使用すると、本機によるエンジン始動ができない場合があります。車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車両のみ、設定を変更してください。上記以外の車両では設定を変更しないでください。

※ 工場出荷時は「IG1+IG2」に設定されています。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。IG設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

エンジンスターター特殊制御の設定（設定には専門知識が必要です）

一部の車両において、工場出荷時の状態で使用すると、本機によるエンジン始動ができない場合があります。車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車両のみ、設定を「OFF」に変更してください。上記以外の車両では設定を変更しないでください。

※ 工場出荷時は「ON」に設定されています。

メモ

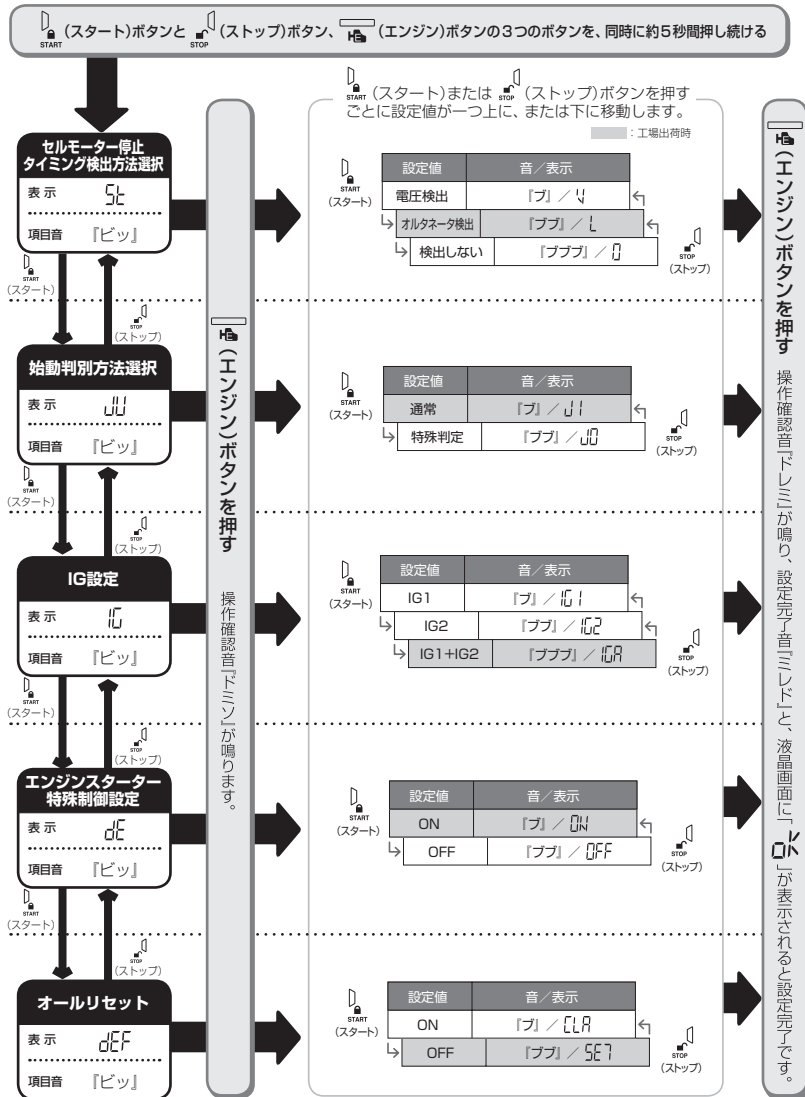
一部のプッシュスタート車やイモビライザー装備車は、自動的に「OFF」になり、変更できません。特殊制御設定の設定変更をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

オールリセット

エンジンスターターの設定（➡22～28ページ）をすべて工場出荷時の設定に戻します。

	音	表示
工場出荷時に設定を戻す	ブ	ON
工場出荷時に設定を戻さない	ブブ	OFF

エンジンスターターの設定



ご注意

設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。

ターボタイマー機能について

走行後のアフターアイドルリングを自動的に行う機能です。

なお、本機はこのターボタイマー機能を使う(ON)使わない(OFF)を設定できます。アフターアイドルリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンのシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能は、パーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作を開始し、キーを抜いた後も、アフターアイドルリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ました後、エンジンを停止させます。

※ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)または、ニュートラル(N)の位置でないと動作しません。ただし、P・ポジション検出ができない車両でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

※ターボタイマー機能は、動作開始から約1秒後にACC電源がONになる仕様となっております。ターボタイマー動作のキッカケとして、キーOFF時に一度、ACCがOFFになりますが、車本来の動作とするため、ACC電源を再度ONに戻しています。

■ターボタイマー機能の設定

本書「エンジンスターターの設定」でターボタイマー機能のON/OFFを設定できます。「ターボタイマー機能の設定」(●23ページ)

■ターボタイマー機能を使用する

ターボタイマー機能をONに設定し、シフトレバーをパーキング(P)またはニュートラル(N)にすると、自動的にアフターアイドルリング動作を開始します。

※アフターアイドルリング中に、リモコンでエンジン停止の操作を行うと、エンジンは停止します。

※給油等でアフターアイドルリングが必要ないときは、リモコンでエンジンを停止するか、フットブレーキを踏んで、いったんシフトレバーをDまたはRの位置にすると、エンジンを停止させることができます。

■オート方式のアフターアイドルリング時間

走行時間にあわせて、アフターアイドルリングの時間が自動的に変化します。

走行時間	アフターアイドルリング時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒間
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※走行時間は、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)以外の位置に移動している時間をカウントしています。

※ターボタイマー機能のアフターアイドルリング時間は、パーキングポジション(P)検出から開始します。

△注意

ご使用になる車種により、まれに正常にはたらかないことがあります。このようなときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。

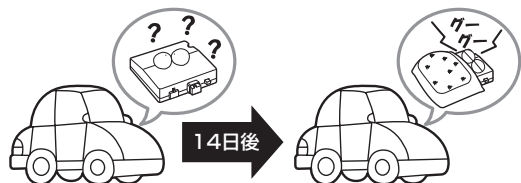
※カーラジオのON/OFFに連動して、アンテナが昇降する車では、ターボタイマーがはたらいてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能がはたらきます。

スリープ機能がはたらくと、本機によるエンジン始動はできません。

スリープ機能を解除するときは、一度、車両本来の操作（キー操作など）でエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

車のバッテリーとエンジンスターター始動の関係

車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、大型のバッテリーに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は、再度P・ポジション検出(● 32ページ)が必要です。

電池交換のしかた

電池を交換するときは下記の手順で電池を装着してください。

電池交換中は車両周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には十分にご注意ください。

●電池の交換時期について

リモコンの液晶表示がでなくなったり、操作ができる距離が短くなったら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

●電池寿命の目安

約1年を目安に新しい電池(CR2025 2個)と交換してください。

※ 使用する条件によって異なります。

※ 付属(内蔵)の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

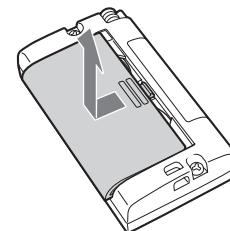
※ 指定の電池(CR2025)以外は使用しないでください。

⚠警告

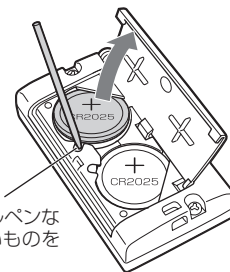
使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。

また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

1 電池カバーを開ける

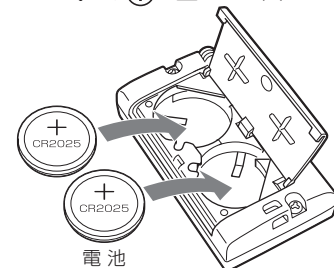


2 電池を取り出す



ここにボールペンなど、先の細いものを差し込む

3 電池(CR2025)を、⊕を上にして入れる



電池

※ リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

4 電池カバーを閉める

車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っている場合

バッテリー上がりやバッテリー交換、車種別専用ハーネスの取りはずし等で常時電源が断たれた場合は、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ・・・』が鳴り、パーキング(P)・ポジションの設定がリセットされたことを知らせます。

※(P)・ポジションがリセットされると、リモコン操作がエラーとなり、本機によるエンジン始動ができません。

車のバッテリー交換やバッテリー上がり、エンジンスターターを付け替えた場合は、下記の手順でパーキング(P)・ポジションの検出・設定を行ってください。

P・ポジション検出の設定手順

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ・・・』音が鳴っている状態で、以下の手順で設定を行ってください。

※何も音が鳴っていない場合は、「車種別専用ハーネスの抜き差し」や「バッテリーマイナス端子の脱着」を行ってから、下記の手順で再設定を行ってください。

1 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離したまま、エンジンキー(エンジンスイッチ)をOFF → ACC → ONと切り替える

ジャンクションユニットからの『ピピピッ ピピピッ ピピピッ・・・』音が止まります。

※ブレーキを踏んだままエンジンキーをONにすると、正しく設定できない場合があります。



(バッテリー交換やバッテリー上がり、本体移設後の操作)

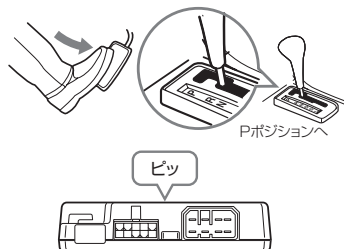
2 ブレーキペダルを踏み込み、確認音『ピッ』が鳴るか確認する

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴らなかった場合



3 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング(P)からリバース(R)に切り替える

約3秒後に確認音『ピッ』が鳴ります。



4 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング(P)に戻す

『ピー』音または『ビロロロ・・・』音が鳴ります。



以上で設定完了です。

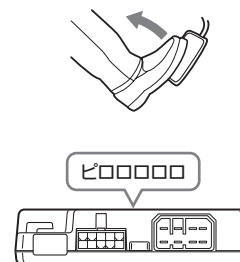
エンジンキー(エンジンスイッチ)をOFFに戻し『ピピピッ ピピピッ ピピピッ・・・』音が鳴らないことを確認してください。

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴った場合

ブレーキ検出線が接続されています。次のように操作してください。



3 ブレーキペダルから足を離す
確認音『ビロロロ・・・』が鳴ります。

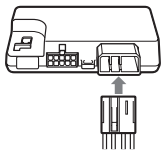


リモコンの登録方法

リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。
※リモコンは取り寄せ品となるため、お時間を頂戴する場合があります。あらかじめご了承ください。

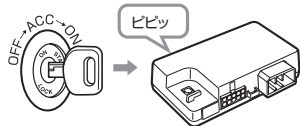
付属のリモコンは、登録する必要はございません。そのままご使用いただけます。

- ジャンクションユニットからコネクター 1 をはずし、再度接続する『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』と確認音が連続して鳴ります。



- キーを差し込んで OFF→ACC→ON と切り替える

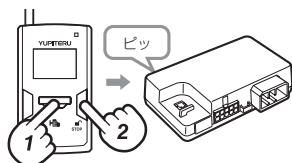
ジャンクションユニットから約 3 秒後に『ピピッ』と鳴ります。



- 『ピピッ』と鳴ってから 20 秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作(ボタンを押し“[”が点滅中にボタンを押す)を行う

ジャンクションユニットから『ピッ』と鳴ります。

リモコンからはエラー音“ビー”が鳴ります。

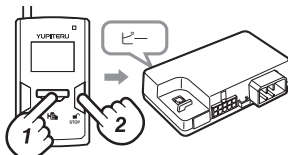


※ジャンクションユニットから『ピッ』と鳴らないときは、キーを OFF にして再度 2 の操作からやり直してください。

- 10 秒以内に再度エンジン停止操作(ボタンを押し“[”が点滅中にボタンを押す)を行う

ジャンクションユニットから『ピー』と鳴り、登録完了となります。

※ジャンクションユニットから『ピー』と鳴らないときは、キーを OFF にして再度 2 の操作からやり直してください。



- ON→ACC→OFF と切り替えキーを抜く



リモコン登録後、続けて P・ポジション検出(32 ページ)を行ってください。

こんなときは

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

症 状	チェック項目	実施項目
操作ボタンを押してもリモコンの液晶画面が表示されない	- 電池が消耗していませんか？ - 電池が正しく入っていますか？	- 新しい電池と交換してください。 - 正しく電池をセットしてください。(31 ページ)
リモコン操作でエンジンが始動または停止できない	- スリープ機能がはたらいていませんか？(30 ページ) - シフトレバーがパーキング(P)ポジションになっていますか？ - ヒューズが切れていませんか？ - エンジンスターターの設定が正しく設定されていますか？ - P・ポジション検出ができていますか？ - 車と離れすぎていませんか？ - 車のバッテリーが弱っていませんか？ - キー操作でエンジンが始動しますか？ - キーでエンジンを始動していませんか？	- 一度キーでエンジンをかけてください。 - シフトレバーをパーキング(P)ポジションにしてください。 - 車種別専用ハーネスのヒューズが切れていないか確認してください。 - 正しく設定してください。〔エンジンスターターの設定〕(22～28 ページ) - 一部の車両では、P・ポジション検出ができないものや、できないものがあります。このような場合には、フットブレーキまたは P・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。 - 電波の届く範囲内で操作を行ってください。 - バッテリーを充電するか、新品と交換してください。バッテリーを交換した場合には、P・ポジション検出が必要です。 - 車の点検をしてください。 - キーでエンジンを停止してから行ってください。
リモコン操作がエラーになる	車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っていませんか？	P・ポジション検出を行ってください。〔車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っている場合〕(32～33 ページ)
リモコン操作できる距離が短い	- リモコンのアンテナに手を触れていませんか？ - リモコンの電池が消耗していませんか？ - 車とリモコンの間に、障害物がありますか？ - リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていますか？	- アンテナに手を触れないで操作を行ってください。 - 新しい電池と交換してください。 - 障害物のない場所から操作を行ってください。 - アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。
リモコンの操作音が鳴らない	- エンジン始動・停止・状態確認操作時に押し(エンジン)ボタンを長押ししていませんか？ - サイレントモードの設定を「ON」にしていますか？	(エンジン)ボタンを短く(約 1 秒)押し操作を行ってください。 - サイレントモードを「OFF」にしてください。(23 ページ)
リモコンのバックライトが点灯しない	バックライト点灯設定が OFF になっていますか？	設定を ON にしてください。〔エンジンスターターの設定〕(22～25 ページ)

始動エラー音について

本機によるエンジンスタートやターボタイマー機能が動作しない場合は、エンジン始動失敗後にジャンクションユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合状況を確認できます。

本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社で相談窓口にお問い合わせください。

- エンジン始動失敗後、次にエンジン始動操作を行うまでの間は、リモコンの  (エンジン) ボタンの2度押し(エンジンの状態確認操作)を行うことで、ジャンクションユニットから、もう一度、エラー音を鳴らすことができ、不具合状況を確認できます。

エラー音	不具合の検出
ピピピッ ピピピッ ピピピッ	P・ポジションの検出ができていません。(● 32～33 ページ)
ピーピー	エンジンスターター動作中断時 P・ポジション検出
ピーピー	エンジンスターター動作中断時 ブレーキ検出
ピーピーピピ	エンジンスターター動作中断時 ドア検出
ピーピーー	エンジンスターター動作中断時 電圧異常
ピーピーピー	エンジンスターター動作中断時 オルタネータ異常
ビッピッピッ ピ	キー飛び込み検出
ピーピーピー ピ ピ	エンスト検出
ピーピーピーー	エンジン始動異常
ビッピッピッ	ターボタイマー動作中断時溶着検出

セット内容

・ジャンクションユニット(1)

●付属品

- リモコン(1)
 - ※ リモコン用リチウム電池 CR2025(2) は内蔵されています。
- センサーハーネス(1)
- 温度センサ(1)
- エレクトロタップ(2)
- タイラップ(1)

- ご注意ステッカーシート(1)
- 保護シート(1)
- シリコンジャケット(1)
- 取扱説明書/保証書(本書)
- 取付・接続説明書(1)

※ 付属品やオプション品の購入につきましては、お買い上げの販売店や弊社製品取扱店にご確認ください。

アフターサービスについて

次ページに続く

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。
(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)

■修理を依頼されるとき

「こんなときは」(● 35 ページ)をよくお読みください。それでも症状の改善がないときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

仕様

■リモコン

適合技術基準 特定小電力無線局
テレコントロール用無線設備
送受信周波数 400MHz帯
送信出力 10mW以下
使用電池 リチウム電池 CR2025 × 2
動作温度範囲 -10℃～+50℃
寸法 34(W)×58(H)×14(D)mm
(突起部含まず)
重量 約32g(電池含む)

■ジャンクションユニット

適合技術基準 特定小電力無線局
テレコントロール用無線設備
送受信周波数 400MHz帯
電源電圧 12V車専用(DC9～16V)
送信出力 10mW以下
消費電流 スリープ時: 約5mA以下
待機時: 約13mA以下(平均)
動作温度範囲 -20℃～+80℃
寸法 111(W)×26(H)×61(D)mm
(突起部含まず)
重量 105g

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
また、本機取り付けによる車両や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

ユピテルで相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

※お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行っておりません。

故障相談や使いかた、付属品や別売品の購入などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:30 月曜日～金曜日

(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (0564)66-8411 〒444-2144 愛知県岡崎市岩津町檀ノ上3
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知・鳥取・島根・岡山・広島・山口	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-3-4-2F

使いかたに関するお問い合わせ

受付時間 10:00～17:30 月曜日～金曜日

(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

<無料修理規定>

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書にしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は(● 38 ページ)をご覧ください。